岩木 地域おこし協力隊 新聞 Vol. 3

岩木地区　地域おこし協力隊の活動をお知らせします。

■一町田セリ　収穫体験

　冬といえば、一町田の特産であるセリの季節ですね。１２月、伊東竜太さんのセリ畑で収穫体験をしてきました。腰の上まで水に浸かって、初めてのセリ収穫。水底の泥に思った以上に足を取られて、協力隊は悪戦苦闘でした。

　収穫後、協力隊の伊藤(狩猟免許あり)が仕留めた鴨肉と一緒にセリ鍋にして頂きました。根っこまでシャキシャキと大変おいしかったです。

　なお、ただ今ANEKKOのレストランこざくらでは、冬季限定メニューでセリ鍋が食べられます。(セリが無くなり次第終了)　セリ鍋を食べたい方は是非！

■北海道　美瑛町視察

　１２月、日本で最も美しい村の視察研修で北海道美瑛町へ行ってきました。美瑛町の皆さんからまちづくりや景観の保護について説明して頂いたり、廃校となった校舎の活用事例などを見学してきました。

　美瑛は「日本で最も美しい村連合」の設立に関わった町であり、「丘のまち美瑛」として景観が町の魅力であるという心意気を町の随所から感じました。勉強になると共に、美しい村・岩木の魅力を考えるよい機会となりました。

■岩木山神社･高照神社の初詣

　元旦、岩木山神社の冬のお山参詣に参加しました。当日は小雨の天気でしたが、雲の切れ間から初日の出を望みながら、お山参詣の成功を祈って参拝しました。

　また別の日には、高照神社で月に一度、高岡地区の氏子の皆さんが実施している清掃活動に参加しました。賽銭の様子を見ると、たくさんの人が初詣に訪れたようでした。

　なお現在、高岡地区の古民家を改修し、カフェにするための支援を募集するクラウドファンディングが実施されています。関心のある方は、インターネットで「クラウドファンディング－Readyfor（レディーフォー）」のページから「弘前市高岡」を検索してご覧頂くか、オーナーの高木さんへお問い合わせください。(メール： ytb.tink@gmail.com　締切２月16日(金))

－－協 力 隊 よ り 今月の 一 言 －－－－－－－－

伊藤　博和
いとう　ひろかず

初めて青森県での猟期を過ごしてます。雪深くて大変ですが、それもまた楽しいです。

佐々木　直美
ささき　なおみ

雪かきのコツを少しつかめてきました。冬の運動不足解消のためにも頑張ります。春が待ち遠しい・・・。

鎌田　祥史
かまた　よしふみ

思い切ってあたご温泉の冷たい方の風呂にも入ってみたところ気持ちよかったです。はまりそうです。

背景：岩木青少年スポーツセンター付近

地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊とは、地域外の人材を受け入れ、新たな視点で地域活性化のための活動を共に行っていくために総務省が創設した制度です。

2017年時点で、4000名近い隊員が日本全国の各地域で地域ブランドの開発、情報発信等、地域おこし支援のために活動しています。

岩木地区では、2017年10月27日より3名の隊員が着任し活動を開始しました。
協力隊に取り組んでもらいたい活動・ミーティングや相談などがあれば、お気軽にご連絡・お問い合わせください。

連絡先(電話)

岩木総合支所　総務課 0172-82-1621